



技術要件管理

この2日間のコースでは、下記の内容を学習します。

- 技術的要件の開発に必要なツールや技法の基礎知識を得る
- ライフサイクルとリスク管理の役割を理解する
- 顧客の役割を理解する
- 技術的要件の定義にかかるコストを明確に理解する

■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- 技術的要件を定義するための技法および手法
- 技術的要件定義に顧客が参加する効果
- 技術的管理におけるライフサイクルの役割
- リスク管理の役割
- 要件定義に用いる技術の選定

■ コースの成果

コースに参加すると、下記の効果が得られます。

- 技術的要件を的確に把握する
- プロジェクトライフサイクルの早い段階で問題を特定し解決することにより、コストを抑え、期間を短縮し、要件を満たしたシステムを開発する
- システム要件定義プロセスに対する理解を深める

■ コース形式

演習をはさみながらプレゼンテーションを行います。コース教材は、プレゼンテーション資料、その他追加資料になります。

■ 準備作業

準備は特に必要ありません。

■ コース内容

技術的要件の定義

- プロジェクトのライフサイクル
- 技法および手法
- RAD (Rapid Application Development) 方式
- JAD (Joint Application Development) 方式
- 進化型プロトタイピング

技術的要件の管理

- ソフトウェアのライフサイクル
- ウォーターフォールモデル
- スパイラルモデル
- 要件管理

技術的リスクの管理

- リスク特定のアプローチ
- RAD/JAD を用いたリスクの特定
- リスクの軽減
- リスクの計画

開発者と顧客

- ライフサイクル定義における顧客の参加と権限
- 従来方式および RAD 方式環境でのチームと役割
- 参加型仕様分析技法 (FAST)
- オブジェクトに基づいた手法とビジュアルプロトタイピングの導入

要件管理の技術

- 従来方式、RAD 方式、パッケージ出荷方式に対する顧客のニーズに適したライフサイクル
- オブジェクト、コンポーネント、プロトタイピング、Visual Basic、Borland、Delphi の見積り手法

■ コース講師

経験豊富な講師が担当いたします。